

第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

1 単元名 大庄クエスト ～富山城へ導かれし者たち～

2 単元の目標

- ・校外学習を計画するという探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、SDGsについての理解を深める。（知識・技能）
- ・校外学習を計画する中から問いを見いだし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことをまとめ、表現する力を身に付ける。（思考力・判断力・表現力）
- ・校外学習を計画するという探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、主体的に学習を進める態度や持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考えようとする態度を育てる。（学びに向かう力・人間性）

3 単元について

(1) 児童の育ち

グループ学習では、互いのよさを認め合い、協働的に学習を進める姿が見られる。一方で、個人で学習を進めたり、自分の学習を調整したりすること、自らの考えを相手に伝えることに関して課題が残る。

(2) 教材について

校外学習の計画をグループ単位で行う。教師主導ではなく、児童主体の校外学習の計画・実施で、のりもの語り教育との関連を図り、公共交通機関の利用を促す。大庄駅と富山地方鉄道の路線は、児童にとって大変身近な公共交通機関である。今回の校外学習では、その大庄駅をスタートとし、富山城を目指す。その行程で総曲輪レガートスクエアや富岩水上ライン等のSDGsに関連した施設の中から、行きたい場所を見付け、組み込んでいく。

この校外学習を成功させるためには、一人一人の責任感や態度等、児童の意欲や学びに向かう態度が重要となってくる。また、ルートや時間等、必要な情報を収集し、選択してまとめていくことも必要である。児童一人一人に、学習への責任感をもたせるとともに、SDGsの視点から、自分たちが住む地域の未来について考えるきっかけとなる契機としたい。

(3) 教師の支援について

この学習を行う上で、学年全体としての校外学習の目当てやグループ単位での活動の目当てを立てる時間をつくる。目当てを児童たちが立てることで、一人一人が主体的に活動できるようにしたい。校外学習計画を作成する時間を取り、見通しをもってグループ学習に取り組む。また、自分の行きたいところを十分に調べるための個人の時間とグループ内で話し合って検討したり、全体に問いかけたりする時間を明確に区別しながら学習を進めていく。その際に、必要な資料として、SDGsに関するパンフレット等を紹介する。それらの資料を正確な情報を集めて整理するために活用したり、目的地等を選ぶ際の参考にしたりしてほしい。グループで思いを伝え合い、討論を重ね、校外学習計画を立てる中で、教師が実行可能な計画か確認しながら、進めていく。

(4) 育てたい児童の姿

この単元を通して、校外学習での学びを、一人一人が資料にまとめ、発表することを終末の学習活動とする。その際には、自分たちで校外学習の計画を立てる上で必要と感じた力やSDGsについて考えたことをまとめ、表現することができるよう指導する。さらに集団としての規律を意識することや公共の場所を利用するときに気を付けること等、校外学習での学びを学校生活の中で生かし、実践していく児童の姿を期待したい。

4 全体計画（8時間）

- | | | |
|------|--------------------|-----|
| ・第一次 | 校外学習を自分たちで組み立てる | 5時間 |
| ・第二次 | 校外学習を自分たちで実行に移す | 1時間 |
| ・第三次 | 校外学習を振り返り、学校生活に生かす | 2時間 |

5 公開授業日の学習

(1) 本時のねらい

校外学習計画を立てるために、必要な情報をグループで整理しながら、自分の考えを相手に伝える。

(2) 展開

配時	学習活動と予想される児童の姿	指導・支援・評価
	伝説の校外学習にするには、どうしたらよいだろうか	
5	1 グループであいさつをする。	・グループワークを行う場所・環境を児童たちに選ばせる。
	2 グループの目当てと計画を確認する。 ・前は、行きたい場所を決めることができたから、今回は、ルートを各自で調べよう。 ・前回調べた行きたい場所を、最初に発表し合って、決定しよう。	・グループの目当てと計画を確認させることで、一人一人が活動に参加できるようにする。 ・必要に応じて、複数のルートがあることや、乗り換えも可能であることを資料を使って、紹介する。
30	3 校外学習の計画を立てる。 ＜個人学習とグループ学習を組み合わせるチーム＞ ・大庄駅から、富山城までは、どんな方法で行くことができるか、個人で調べてみよう。5分後、調べたことをみんなで聞き合おう。 ＜グループで、比較・検討するチーム＞ ・電車だけで行くこともできるし、電車とバスでも行くことができることがわかったよ。どっちのルートのほうが、時間がかかるかや料金に違いがあるかも比べてみよう。 ・行きたい場所の近くを公共交通機関が通っているかも確認してみよう。あまり外れていると、時間内に富山城に着くことができなかつたり、見学時間が短くなつたりしてしまうよ。 ＜グループで各自が作ったスライドを聞き合うチーム＞ ・互いに調べてまとめた「行きたい場所紹介」を聞き合おう。聞き合った後、どこがいいか投票して決定しよう。	・必要に応じて、複数のルートがあることや、乗り換えも可能であることを資料を使って、紹介する。 ・chromebookやホワイトボードを使い分け、考えを互いに共有できるようにする。
5	4 グループで今日のまとめをする。 ・今日は、チームでルートを決定することができてよかったです。このルートだと時間に少し余裕がもてるので、自分たちの目当ての「安全に」が達成できると思いました。 ・今日は、チームの目当てでもある「協力して計画を立てる」を達成できたと思います。ルートやかかるお金も計算できたので、次回は、持ち物等をみんなで考えたいと思います。	・グループとして、「今日決めたこと」「チームの目当てに対してどうだったか」の視点でまとめ・振り返りをするように促す。 ◎校外学習計画を立てるために、必要な情報を収集・整理し、自分の考えを相手に伝えることができたか。
5	5 全体で共有したいことを確認する。	(発言、振り返り)

6 授業の視点

教師の資料提示や学習を見通すための工夫、個別・グループへの声かけは、児童たちが互いに考えを聞き合う姿を促す支援として適切であったか。